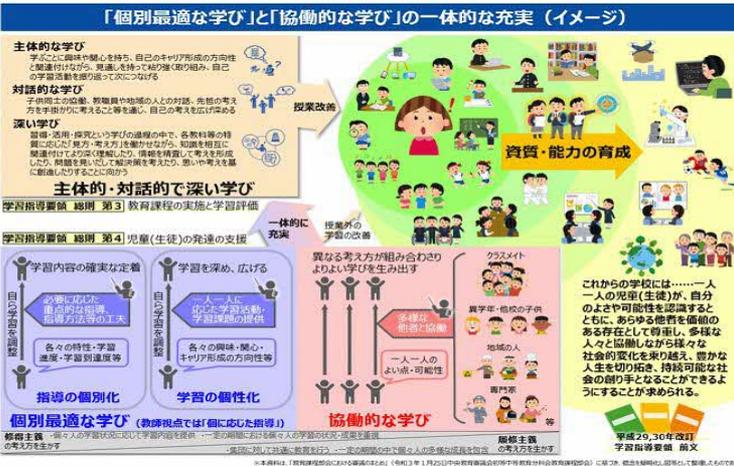


リーディング DXスクール事業 【実践事例】

足立区立六月中学校(東京都)【協力校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させるための手だての整理



研究主任や主幹教諭によるミニ講義



グループでの協議

校内研究の目的＝授業改善のためのICTの活用

中央教育審議会の資料を基にして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のためにICTを活用することを全教職員で共通理解を図った。

研究の目的

- (1) 教員: 授業改善のための、ICTの活用
- (2) 生徒: 「個別最適な学び」×「協働的な学び」を支えるための、ICTの活用

研究1年目は
(令和6年度)

【手だて1】毎月のICT研修会の充実

→ 共通認識の確認や事例、アプリケーションの紹介

【手だて2】相互に授業参観しやすい風土づくり

→ 積極的に普段の授業や研究授業を見合える環境整備

【手だて3】授業研究しやすい環境づくり

→ 教員の「やりたい」を形にするための相互サポートの充実

ICTの活用はあくまでも授業改善のツール

教師の授業改善が、生徒の幸せにつながる

六月中の研究キーワード
『「全員で」研究に取り組もう！』

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立六月中学校(東京都)【協力校】

【取組内容】情報活用能力育成のための、全教科・領域での Chromebook活用

リーディングDXスクールの理解



生徒にChromebookを活用して学習させるための準備



実際に教員がChromebook上のクラウドツールを使う



教員がクラウドツールを活用して協働する

そのためには

管理職のマネジメント①

教員が「やってみよう！」と思えること

- とにかくChromebookを使ってみよう！と声をかける。
- Chromebookを使っていたら、とにかく褒める。紹介する。
- 課題を指摘しすぎない。
- ICT活用に関する教員の自発的な取組は全て承認する。
- 教員を信じる。教員を支援する。教員に委ねる。

管理職のマネジメント②

教員が様々なクラウドツールを使えること

- 初めから全クラス・全教科の公開授業で計画する。
- Chromebookの使用を、授業観察の視点に位置づける。
- 校内研究授業は、各回複数クラスで行う。
- 教員が互いの授業を自由に見合える期間を設定する。
- 管理職もICTを活用する。

教員のICT活用を促進するための、教員のリーダーシップ + 管理職のマネジメント

ICTを活用した授業改善を全員ができる学校に！

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立六月中学校(東京都)【協力校】

【取組内容】教職員全員で取り組むための ICT研修会の充実

ICT研修会の充実

【令和5年度 校内ICT委員会の発足と取組】

- AIドリルの促進が目的の一つ
 - 年3回のICT研修会の実施
 - (1) 授業で活用できるアプリケーションと実践事例の紹介
 - (2) 校務改善に活用できるICT活用実践事例の紹介
 - (3) 学びをすぐに実践できる体験型研修会の実施
- 校内におけるICT活用の土台が作られた



【令和6年度 校内ICT委員会の取組】

- 校内でのICT活用の促進が大きな目的に
 - 毎月のICT研修会(研究授業)の実施
 - (1) クラウドの有用性の理解(教員)と授業への導入
 - (2) 「本校の教員に提案性のあるICT活用」を視点とした授業研究
 - (3) 自主研究期間と授業参観強化月間の設定
- 校内におけるICT活用が大きく促進された

令和6年度より
LDXスタート!

ICT研修会の様子



- (1) 教職員一人一人を大切に、寄り添う研修会
→ 「自分にもできそう」「自分のペースでできそう」と思えるような工夫を行った。
- (2) 教職員全体を徐々に巻き込めるような取組
→ 初めはICT委員会主体で見本(授業公開)や事例を提示することで、年度の後半から、ICT委員会に所属していない教員も安心して授業公開を行えるようにした。

一人一人に寄り添い、「全員で」取り組む六月中!